



小池 光選

肘ついて食べちゃ駄目だよ三歳の孫に言われてハイと答える
つば市 岩瀬 悦子

【評】こどもも三歳くらいになるといろいろの事を覚える。おばあちゃんが肘ついて食べるのを見て注意する孫。思わずハイと答えるおばあちゃん。まことに天下太平。

読み残し二十歳の夏のカラマソフ読んで終えな
ん八十歳の夏を
大和郡山市 四方 護

【評】名著『カラマソフの兄弟』。若いころ読んでが難しくて途中で挫折した。八十歳になって読み直そうと決意する。実に立派。こういう高齢者が居られることは励みになる。

「あはんのヒロインが持つ筆入れはセルロイドあわれも持ていし和歌山県 助野貴美子
【評】むかしセルロイドの筆入れというものがあつた。あれはよく割れたものだ。テレビドラマにそれが出てきて感慨無量。

丸木美術館の原爆の図を見たら都幾川の流
れまぶしかりけり
狭山市 古谷真利子

起立して玉音聞いたあの日から八十歳の歳が流
れる
坂出市 高嶋 勝昭

涼ませて貰ひに入りし古書店に礼のつもりで文
庫本買ふ
稲城市 山口 佳紀

二億円出ましたというクジ売り場過ぎつつ夕餉
の買い物に行く
仙台市 小野寺寿子

膝痛に友下り得ず我上り得ずエレベーターの在
るを寿ぐ
札幌市 三瓶 敦子

若き日のわが息遣い含みたる大筆、小筆の整理
をしたり
小平市 栗原 良子

リュックに解雇理由も詰め込んであいつは職場
を淡淡と去り
東京都 成田 周次

栗木 京子選

日傘さし男も女も黙しつつゲリラの雲に目を凝
らしけり
高知市 矢田 敦之

【評】先ほどまで日が照っていても、たちまちゲリラ豪雨に襲われる日々。晴雨兼用の傘は必需品となり、男性の使用者が増えた。「目を凝らしけり」から緊迫感が伝わる。

冷蔵庫の鶏卵のその真白さに涙いつ妻の手術日
の朝
北上市 加藤 英治

【評】冷蔵庫を開けるといつも通りに卵が並んでるが、今日は妻の手術日だと思つて胸が苦しくなる。「鶏卵のその真白さ」という丁寧な語順に深い祈りが託されている。

流産の後に拾ひし愛猫にも一度会つて感謝した
いよ
松江市 犬山 純子

【評】流産をした後の悲しみを癒してくれた猫。今はこの世にいないのだろう。「感謝したいよ」のやさしい語調が心に沁みる。

桑畑が長芋畑になつていま半導体の大工場建つ
千曲市 米沢 光人

どの蟻も全速力で走る夏防犯カメラに登つた蟻
も
熊本市 甲賀 亨子

語り部は惜しまれて逝く加害者の兵は大概語ら
ずに逝く
静岡市 柴田 和彦

農継がぬ東京の子に採れたてのピーマン送る幾
十年を
神栖市 山上ふみ子

割ればすぐ水の匂いの溢れ出し西瓜割りした祖
母の庭先
新居浜市 寺村 洋子

初めての病院食は薄いねと九十一の母はつぶや
く
八王子市 松田 敦子

将棋さし夫に勝ちたる小四は「じいじは年を取
ったのかな」と
日立市 高山 豊子

依 万智選

封を切りアイスを夏に晒したら正座を崩すよう
に溶け出す
宇部市 常田 瑛子

【評】溶けるアイスを捉えた比喻「正座を崩す」が印象的だ。さらに、アイスを描きつつ、その周りの空気が押し寄せるように届くのがすごい。「夏」という大きな語が効いている。

オルゴールみたいだ祖母は唐突に語り始めてそ
れつきり静か
大和郡山市 大津 穂波

【評】高齢の人にありがちな様子を、オルゴールという美しいたとえで捉えたところに愛情が感じられる。「みたい」ではなく「みたいだ」が、一首の柄を大きくしている。

笑つて、ときみにたくさん言いたくてカメラを
持つていく旅だった
八王子市 吉村のぞみ

【評】写真を撮る場面なら「笑つて」という声かけが、いくらでもできる。素敵な言い訳のためのカメラである。

台風が狙つたようにやってくるプロボウラーの
投げ軌道で
山形市 久保田一輝

猛暑日は子どもがこない公園の色鮮やかな総合
遊具
生駒市 宮田 修

読点のような小雨を降らせては何かを迷う六月
の空
平塚市 小林真希子

水筒に氷を多めに入れる朝 冷たい愛もあると
気づいた
和光市 宮本 竜馬

隕石のようにから揚げどんと来る別れを予感し
ている店で
高島市 くらたか湖春

飽きるほど占つてみて良い結果それなのにまだ
きみに会えない
東京都 末野 有理

やわらかな綿の肌着の心地する言葉を選んでゆ
く君の声
横浜市 友常 甘酢

黒瀬 珂瀾選

日に三度鎮痛剤を錠としてステージ四の海に生
きおろ
吹田市 高橋 末子

【評】鎮痛剤を助けとして、がんと闘いながら生活を送る。ステージ4という病状を、行き先の知れない海に例えつつ、どこか遠い果てを見通す命の力を感ずる。ご安寧を。

尊敬をしている上司がいねむる暴露系アカウ
ントのpost
東京都 町田 翔馬

【評】現実とネット上で振る舞いに差のある人は多い。人を傷つけるような暴露系を見ているなんて、これから上司をどう見ればいいのか。という、SNS時代の悩みです。

期日前投票所にて名を書けば私ひとりつとつと
なりぬ
千葉市 佐藤 綾子

【評】「ひとりつとつと」がいいですね。たとえ個人個人の力は小さくとも、確かにそれはひとつの「力」。投票の大切さを噛みしめます。

とんぼの翅を翳つた幼子のように主婦でいいよ
と激みなく言う
所沢市 須藤ゆかり

ボタ山がくずれて死ぬなど思いもせず宿題見せ
ると約せし土曜
佐世保市 近藤 福代

亡き父が子を肩車するように墓石の上に夕日が
光る
山形市 柏屋 敏秋

ひとりづつ家族の減りてゆくことの練習ならむ
母の入院
徳島県 永田 愛

初めての夏を迎えしみどり児に基平着せる三人
がかりで
熊本市 森山 昭子

おしやべりが達者になつた一歳が相手かまはず
「あかちゃん」と呼ぶ
鹿嶋市 大熊佳世子

親の決めた婚姻に従い満州へまだ見ぬ君の写真
片手に
湯沢市 永井 信行